

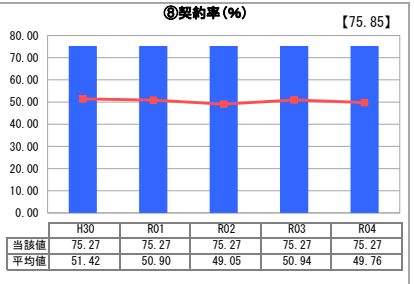
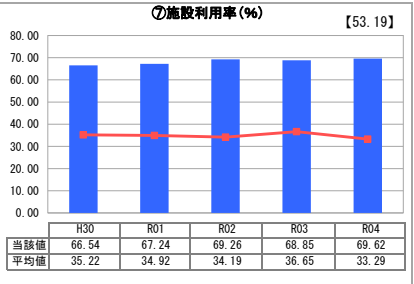
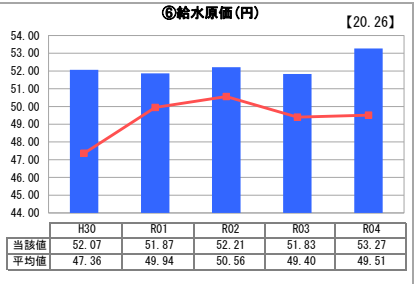
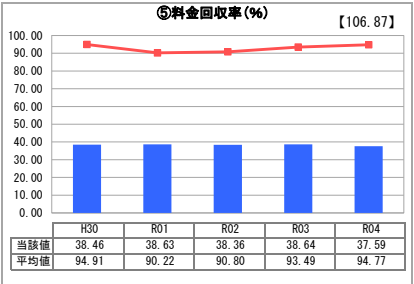
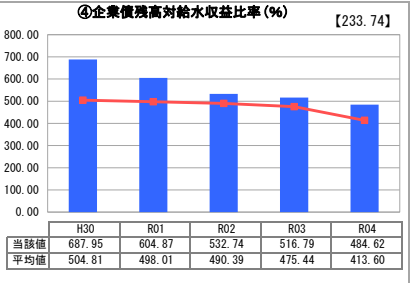
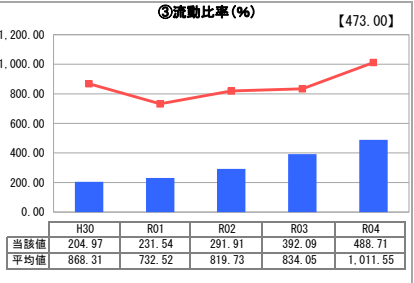
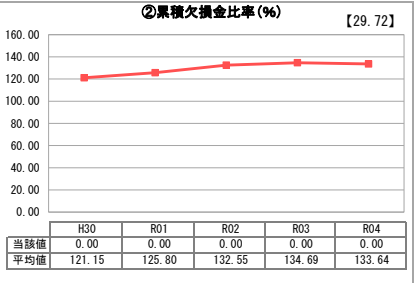
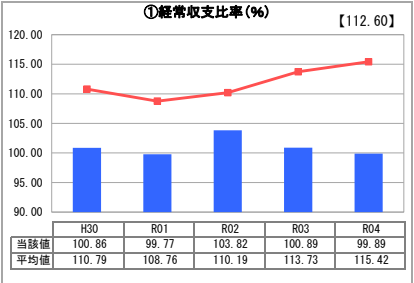
経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

山形県 小国町
【事業概要】

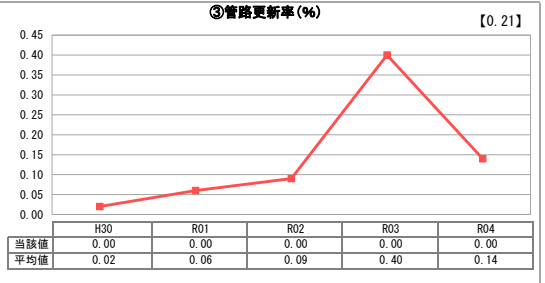
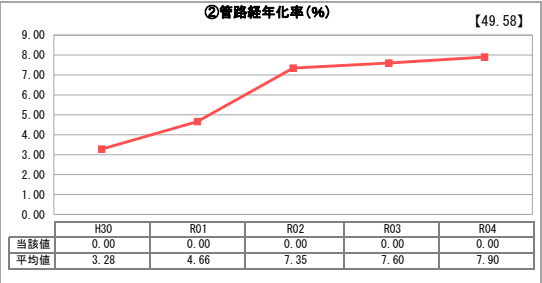
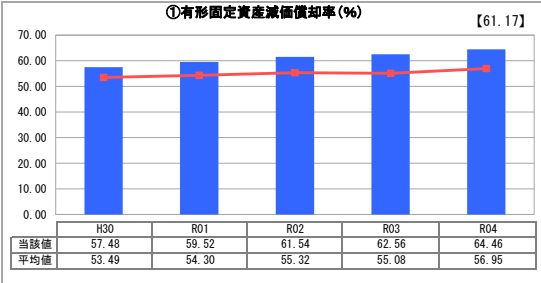
業務名	業種名	現在配水能力(合計)($\text{m}^3/\text{日}$)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m^3)
法適用	工業用水道事業	6,510	極小規模	1	4,532
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量($\text{m}^3/\text{日}$)	管理者の情報	
-	81.7	1	4,900	非設置	

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
□ 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
単年度の経常収支は若干の赤字ではあるが、収益の多くを一般会計からの繰入金に依存している状況が続いている。

④企業債残高対給水収益比率
直近5年間は機器点検に基づいた最低限の設備改修に留めており大きな投資を行っていないため、企業債残高の減少が続いている。

⑤料金回収率
基準外繰出により収入不足を補填している状況であるが、供給先企業と協議を進め、老朽化に伴う改修経費分に係る料金改定を進めない限りは回収率の改善が望めない。

⑦施設利用率
給水先企業の操業が好調を維持しており、類似団体と比較しても高い利用率を維持している。今後も同様の使用が続くのであれば、契約水量の増量も協議し、増収に繋げていくことが求められる。

⑧契約率
1社のみで一定となっている。

設備の老朽化や電気料や薬品費の高騰が続いていることから、改修費用の一部として供給先企業と料金改定の協議を進め、収支の不足分を一般会計からの繰入金に求めて、持続可能な経営を検討していく。

2. 老朽化の状況について

管路については耐用年数の概ね半分の期間が経過しているため、更新等は計画していない。
機械及び装置については、長期的に経費が節減できるよう、毎年点検を行った結果を受け、予防修繕を含めた老朽化対策と更新費用の平準化を図っている。
計画的に改修工事を実施し、単年度収支に大きな影響が出ないよう、活用できる企業債を活用しながら、財源を求めながら、更新を進めていく。

全体総括

本事業は町内の給水先企業に対し、安定的で上質な工業用水を低価格で供給することにより企業活動を支援し、それによって町内経済の活性化を目的としている。
今後新たな設備投資よりも既存設備の維持が大きな課題となってくるため、長期的に経費が節減できるよう予防修繕を含めた老朽化対策を中心に実施し、長寿命化と維持費の平準化を進めることが求められる。
維持管理経費の財源確保のため、料金改定の協議を進め、併せて一般会計からの繰入金にて財政収支の損失を補填し、健全な企業運営を目指す。